

医者と弁護士が知っている

日本の病院 7つのなぜ

誰もが知っておきたい
医療との上手な付き合い方

医師
猪俣武範



弁護士
松尾剛行

はじめに 医療における「なぜ？」

この本を手にとられた皆様の中に、病院に行った経験がない人はおそらくいないと思います。自らが体調を崩したり、身近な方のお見舞いで病院に行かれたりしたのかもしれない。体調を崩さなくとも、健康診断や予防接種で定期的に病院に行く人も多いと思います。

その際に、外来や調剤で、長時間待たされた経験がある人も多いのではないでしょうか？

例えば、レストランで予約をしているのに2時間も待たされたら文句の1つも言いたくならないと思います。しかし、病院においては、診察を受けるのに数時間待ちといった状

況も比較的よく見られます。ではなぜ、病院では長時間待たされるのが常態化しているのでしょうか？

これは、医療や病院について、多くの皆様が感じられる「なぜ？」の1つでしょう。それ以外にも、「病院の広告はどうして普通の広告と違うのだろう」とか、「救急搬送の際になかなか受け入れてもらえない場合があるのはどうしてだろう」とか、「AIが急速に発展しているけれども、将来人間の医師はいらなくなるのだろうか」といった、様々な疑問を感じておられるのではないのでしょうか。

実は、皆様が医療に関して感じられる多くの「なぜ？」は、医療の实情とその背景にある法律を知れば「わかった！」と納得することができると思っています。

本書は、一般の皆様が感じているであろう、医療に対する典型的な疑問点を取り上げ、その背景にある医療の实情と法律の関係をわかりやすく解説します。

長い人生の中で、病院との付き合いは誰にとっても欠かせないものになるからこそ、医療に関する知識を得ることで、病院を上手に活用していただけたらと考えています。

(そのために、本書の巻末218ページ以降に、「効率的かつ効果的な診療のために、病院にかかる際に知っておきたいポイント」を特典としてまとめていますので、ぜひご活用ください。)

さらに、著者である私たちには、日本の医療の現状を皆様に少しでも共有し、理解していただくことで、日本の医療をより良くしていきたいという思いがあります。

そもそも、私たちがこの本を書こうと思ったのは、病院や医療が一般的な社会やビジネス環境とかけ離れ、「なぜ?」と思うことがたくさん存在するように感じたからです。

なぜ、予約をとって病院に行ったのに、2時間待ちなのだろうか?

なぜ、アメリカで使える新薬を日本では使うことができないのか?

なぜ、病院に食べログのような評価サイトは存在しないのか?

など、たくさんの疑問が存在します。

このような「なぜ？」を、ハーバード大学で出会った、医療の専門家である医師と法律の専門家である弁護士が、一般の皆様にもわかりやすいように解説したのが本書です。

これまで、医療と法律に関する書籍は、医療に詳しい弁護士や、法律に詳しい医師が書くことがほとんどでしたが、やはり1人が医療と法律の双方について十分な知識と経験を持つことは容易ではありません。

日本から離れたポストンという街で出会った私たちは、日本の医療を俯瞰し、客観的な立場から洞察する中で、**日本の医療の素晴らしさとその現況を更に良く理解してほしい**と思うようになりました。

また、医師や看護師等の医療従事者と一般の皆様の医療リテラシーのギャップを少しでも埋めることで、医療に対する理解を深め、満足度や信頼の向上につながればと

考えております。

本書の著者は、医師と弁護士です。

猪俣武範は、医師であり、ハーバード大学医学部に留学し、MBAをボストン大学で取得しました。臨床のみならず、研究、教育、経営に活発な活動をしています。日本の医療の現状を皆様に少しでも共有し、理解していただくことで、世界一素晴らしい日本の医療を今後も継続していく社会の醸成に貢献したいという思いがあります。

松尾剛行は、弁護士です。ハーバード大学ロースクールで法学修士の学位を取り、北京大学のMBAコースも修了しています。2007年に弁護士として登録して以来、薬機法や医療過誤を含むヘルスケアに関する様々な案件を取り扱っており、製薬会社で働いたりした経験もあります。

私たち2人の共通のバックグラウンドにはMBAがあります。経営管理の観点を入れることで、医師や医療従事者がより働きやすい環境の中で、かつ、患者の皆様により良い医療を提供できるようにするべきである、という考えを共有しています。

医師と弁護士である2人の著者が協力し、MBAの観点をに入れて執筆することで、これまでの「医療と法」ないし「医事法」に関する類書とは全く異なる、新しい本ができたと思います。

人生100年時代、医療は誰にでもますます重要になってくるからこそ、医療や病院について知ることは、誰にとっても欠かせないこととなります。

本書が、皆様のお役に立てるものと信じています。

著者

医者と弁護士
が知っている

日本の病院7つのなぜ

Index

はじめに 医療における「なぜ？」

002

Chapter 1

なぜ病院は広告しないのか？

病院の広告が少ない理由

016

駅で見かける、シンプル過ぎる病院の看板／医療広告は規制されている！／「きれいで待たない病院」は本当に良いのか／ホームページは広告ではない？／インターネットと医療広告／医療口コミサイトは広告になるのか？／「誹謗中傷」問題／より良い病院選びを実現するために

Chapter 2

なぜインターネットで買えない薬があるのか？

薬に関する「なぜ？」

038

ネットで買えない・新薬が使えない…

なぜネットで医薬品を買えないのか？

041

医薬品は適切、安全に／一般医薬品の3つの区分／ネットで買える薬、買えない薬／誰でも薬をネット販売できるのか？／Amazonが薬を販売できる理由／ドラッグストアからネット販売へ／薬の口コミはできない？

なぜ新薬をすぐに使えないのか？

057

深刻なドラッグ・ラグ／承認までの長い道のり／ドラッグ・ラグ解消のために／新薬をすぐに使えない「真の」理由／日本では治験に費やせる時間が少ない／治験を推進するしくみ

作り／ヘルスケアにおけるテクノロジー・ラグ／産官学民の連携と協働を／ヘルスケアのECOSYSTEMの改善を

Chapter 03

なぜ都会でも田舎の病院でも同じ診療費なのか？

医者と病院とお金の関係

084

病院での支払いはどこでも同じか／保険診療と自由診療／保険診療と自由診療は併用できないのか？／先進医療の利用／5割の病院が赤字／病院の売り上げは増やせるのか／都会の病院ほどコストが厳しい／社会保障費抑制と医療の質の維持向上の両立を

医者は本当に儲かるのか？

101

医師の年収の実態／仕事をし過ぎる医師／都会の医師の給与ほど安い／医師になるにはいくらかかるのか？／医師の働き方改革の意味／医師に対する単価(時給)について／持続可能な医療のために

Chapter 4

なぜ病院は待ち時間が長いのか？

病院の「待ち時間」問題

118

予約しているのに待たされる／病院のサービスは属人的

病院のオペレーションが滞る理由 1

122

医療は「断れない」／医師の応召義務とは／医師の応召義務に関する変化／「医師の働き方改革」後の医療サービス

病院のオペレーションが滞る理由 2

129

価格の調整

病院のオペレーションが滞る理由 3

132

医療の不確実性

病院のオペレーションが滞る理由 4 ————— 134

時期による需要の急変

待ち時間解消のための処方箋 ————— 136

考えられる工夫／需要サイクルの理解が必要

Chapter 5

なぜ病院はいつでも見てくれるのか？

なぜ病院は年中無休なのか？ ————— 142

24時間体制の救急外来／社会インフラとしての医療／自由競争に委ねればいい？／医師としての職業倫理／医師の働き方改革／自己犠牲的な長時間労働／診療業務の特殊性／上手な医療のかかり方とは／医師の労働時間管理の適正化／労働時間短縮を進めていくための具体的方向性／時間外労働「年間960時間以下」を目指す／患者・市民にはどのような影響が出るのか？／社会で医療を守っていく必要

Chapter 6

なぜ救急車のたらい回しが起きるのか？

なぜ妊婦は救急搬送を拒否されたのか？

168

「たらい回し」が起きる理由／日本の救急医療体制／「コンビニ受診」問題／医療崩壊も？
／医療危機の4つの要因／医療を守るためにできること／ひとりひとりの協力を

Chapter 7

なぜ人工知能による医師の代替はできないのか？

人工知能と医療

186

Aーが医師の仕事を奪うか？／病気の診断ができるAーの登場／Aーは人間の医師にどこまで肉薄しているのか？／Aー導入のメリット／医療を高度化・効率化する可能性／リ

スクと問題点／ＡＩに診断をさせるか——政策的大論点／ＡＩの診断、治療をめぐる様々な議論／ＡＩの責任は誰が負うのか？／ＡＩ導入で増える医師の悩み／ＡＩに医師の仕事は代替されるのか？

おわりに

215

巻末特典

218

参考文献

223